

令和7年度 こども・若者からの意見回答（令和7年10月分）

【意見を書してくれたみなさまへ】

たくさんの意見をとどけてくれてありがとうございます！

ホームページなどにのせてもいいと回答をもらった意見にたいして、とどいた意見と市の考え方をホームページにのせています。

学年や学校名、お名前など、こじんがわかるような声はのせません。

また、みなさまからいただいた意見について、とく定のお店やしせつの名前を別の言い方にしたり、

にている意見をまとめたりするなど、書いてくれた文章を変えたところがあります。

これからもたくさんの意見をとどけてくれるとうれしいです！



No	古河市をよくするためのアイデアや古河市にきてみたいこと	あなたの意見をかいてください。何をしたらよいかなどできるだけ詳しくかいてください。	担当課	担当課の考え
1	イベントについて	大人の目にとまるイベントをつくってほしい	観光物産課、生涯学習課	【観光物産課】 イベントについて意見をありがとう！ 観光物産課では、大人から子どもまで楽しんでもらえるよう、花火大会を開さいしていますが、大人の目にとまるような、大人が楽しめるイベントもいいですね。 参考にさせていただきますね。 【生涯学習課】 みんなイベントは大好きですね。街のイメージも良くなるから市役所もイベントの計画には毎回知恵をしぼります。 生涯学習課で行うイベントには4月の「古河こどもまつり」や11月の「わくわくサイエンスフェスタ」などがありますが、これらは他の市にはないものです。面白いステージショーがあったり、いろいろな体験や交流ができたりと大人も子どもも楽しめるように工夫していますので、ぜひみなさんで遊びに来てくださいね。
2	イベントについて	冬になにかお祭りを開催してほしいです！ (どまんなかまつりなどの物がいいと思います)	観光物産課	冬のお祭りについて意見をありがとう！ 冬には古河駅西口でちょうちんさおもみまつりと七福神めぐりを開さいしています。 古河関東ド・マンナカまつりのようなステージイベントとたくさんのお店が並ぶお祭りは、冬には開さいしていませんが、ちょうちんさおもみまつりや七福神めぐりなどの伝統文化を、未来へうけついでいくこともとても大切なことなんです。
3	イベントについて	もう少し生き物が触れ合えるところが近くにあるとすぐ行きたくなしとてもいい 古河市になると思う。	都市計画課	各地区に、古河公方公園、サンワ設計ネーブルパーク、ふるさとの森などの自然あふれる公園があります。また、古河公方公園には、クジャクがいたり、ネーブルパークのポニー牧場ではポニーに乗ることが出来て、とても楽しいので、ぜひ遊びにきてね。
4	スポーツについて	友達も言っていたけど... スポーツの寄付金など力を入れてほしい...	スポーツ振興課	意見をありがとう！ スポーツのための寄付金があると、いろいろなスポーツをがんばりたい子が安心して練習できるようになりますよね。関係団体などと話し合いながら取り組んでいます。
5	スポーツについて	バスケや野球などのスポーツクラブはあるけれど、ドッジボールのスポーツクラブはないから、ドッジボールのスポーツクラブを作ってほしい。年齢に関わらず参加できるような	スポーツ振興課	意見をありがとう！年齢に関わらず参加できるようなスポーツクラブがあると交流もできて楽しいですね！ ドッジボールは、友だちと力を合わせて走ったり投げたりよけたりして全身をつかうスポーツです。興味のある人たちと話し合いをしながら取り組んでいます。
6	スポーツについて	僕は、古河市相撲スポーツ少年団に所属しています。今年の6月に今まで練習していた土俵が無くなってしまいました。今は、週2回、古河三中の柔道場を借りて練習しています。最近はメンバーも増え、色々な大会で入賞しています。今までも、多くの先輩達が、高校や大学、社会人、大相撲で活躍しています。相撲は国技で、先日の古河巡業では、たくさんのお客が来て、楽しんでいました。古河に土俵がなくなってしまったことは、非常に残念です。早急に土俵を作ってもらえると嬉しいですよ。	スポーツ振興課	意見を書いてくれてありがとう！国技である相撲で古河市のみなさんが活やくされていること、とてもうれしく思います。 古河体育館の解体にともない、土俵も解体し、利用して下さっていたみなさんには、残念な思いをさせてしまい、ごめんなさい。今後の土俵の新設については、たくさんのお金と設置する広い場所も必要となります。みなさんからのご意見、ご要望を聞かせていただき、関係団体などとも話し合いながらスポーツし設（相撲場等）の整備について考えていきます。
7	バスなどの交通(こうつう)について	古河市に地下鉄を通してください	交通防犯課	意見をくれてありがとうございます。 地下鉄を作るには、とても大きな準備が必要です。例えば、まずは地面を深く掘らないといけない、安全に利用できるトンネルや駅を作るためには、ものすごくたくさんのお金と時間がかかります。 また、地下鉄を動かすためにも、たくさん電気や働く人が必要になります。 地下鉄は、東京や大阪のように非常に多くの人が一度に移動する場所では便利ですが、古河市では、今の人口や移動する人の数に対して、地下鉄を作る・維持するためのお金がかかりすぎて、実現するのが難しいのが現状です。 その代わりに古河市では、道路を使って、みんなが便利に移動できる循環バス(ぐるりん号)などの工夫を一生けん命進めています。
8	まちづくりや市のアピールについて	三和地区は土地がいっぱいあるからモールや動物園などを作ってほしいそうすれば古河に来る人も多くなると思います。古河はこれから発展し続けると思っています。だからこの意見も耳にかた向けてほしいです。	産業戦略課	素敵なアイデアをありがとう。モールや動物園がもっとあったら、みんな楽しく過ごせそうですよね。 モールや動物園は、お店を出す人が、どこにお店を出したらたくさんお客さんが来てくれるか、地域の人がかどんなお店があったらいいなど考えているかなどを、たくさん考えて場所を決めています。そのため、古河市が「ここでお店を開いてください」とお願いすることはとても難しいことです。 でも、市役所では古河市のアピールをしたり、お店をやっている会社のお手伝いをするなどで、魅力的なお店を出してもらえるように、これからも頑張っていきたいと思っています。
9	まちづくりや市のアピールについて	まちでアピールすれば、まちがよくなり、つたえあうようになると思っています。	シティプロモーション課	意見ありがとう！ よりよい古河市となるよう、今後も市のアピール方法について考えていきますので、面白いアイデアなどがありましたらまた教えてもらえるとうれしいです。
10	学校について	学校には、音にびん感であったり(ちょう覚過びん)、色の見分けがむずかしかったり(色覚いじょう)、不安な気持ちから何度も同じ行動をしたり、これをせずにはいられないと頭からはなれなかったり(強迫性障害)、相手の気持ちを考えたり自分の気持ちを伝えることが苦手(自閉症)で苦しい思いをしている子がいます。周りから辛さがわからなく、周りの人にもっと苦しいことを知ってほしいと思うので、さまざまな障がいの応援ポスターを作ってほしいです。また、なやんだときに相談できるところがあったら教えてください。	障がい福祉課、人権推進課、指導課	【障がい福祉課】 大事な意見をありがとう。様々な病気や障がいについて、もっと多くの人に理解してもらいたいという思いは、私たち職員も同じ気持ちです。特定の病気や障がいについてのポスターを作るには、病気や障がいについての知識が必要ですので、まずは関係する職員同士でしっかり話し合いをしていきたいと思っています。 【人権推進課】 「目に見えない病気や障がい」を多くの人に知らせる方法を関係するところ(障がい福祉課や教育委員会や学校)と相談します。例として、学校内で病気や障がいについてお知らせの仕方、また困ったときに相談する場所が分かるようなチラシなど、みんなに伝える方法を考えていきます。 【指導課】 思いを話してくれてありがとうございます。今の状況について、身の回りにいるだれかに相談ができていますでしょうか。学校には定期的なここらの専門家であるスクールカウンセラーが来ていますので、お話したいことがあれば相談にきてくださいね。

11	学校について	<p>今の学校の環境は、僕のような勉強や実技などの面で、ずば抜けてできる人や、すごく苦手な人が充実した学校生活を送れる環境ではない気がするので、そのような「フツー」ではない人でも充実した学校生活を送れるようにしてほしい。</p> <p>例えば： このような人が楽しく会話できるような教室があったらいいな。</p> <p>アイデアは1つだけですが、是非古河市のこども政策に活かしていただきますと嬉しいです。</p> <p>賢者愚者 二人集えば 笑いあり 学舎の隅 類友呼べ</p> <p>僕のような当事者の思いを歌った句です。 最後まで見ていただき、ありがとうございます。</p>	しどう課 指導課	<p>少し前の歌になりますが、「世界に一つだけの花」という歌があります。その歌しには「そうさ ぼくらは 世界に一つだけの花 一人一人ちがう種を持つ その花をさかせることだけに 一生けん命になればいい」とあります。古河市の学校や先生方は、みんなという花を満開にさかせようとしています。例えば、じゅ業では先生だけが話すのではなく、みんなが話し合ってかい決する場面を作ったり、相談し合ったりする時間を多くとったりして、みんなが活やくするじゅ業を目指しています。あなたが示してくださった「楽しく会話がができる教室」はまさに目指す教室です。楽しいだけではなく、「とても勉強になったなあ」とか「友達と話することができてうれしかったなあ」という教室や学校をこれからも目指していきます。ご意見ありがとうございます。</p>
12	学校について	毎日持ち帰りしているノートパソコンがとても重いです。もっと軽いパソコンにしてもらいたいです。	しどう課 指導課	毎日、重いパソコンを持ち運びしてくれて、本当にありがとうございます。毎日使うものが重いと、大へんに感じてしまうのは当ぜんのことです。あなたの意見を聞いて、私たちもパソコンが軽くなるようにかんきょうを整えていきます。また、ランドセルの中で工夫できる点がないか、学校の先生やお家の人に相談してみてもよいかもしれません。
13	・公園（こうえん）について ・通学路（つうがくろ）などの道路（どうろ）や防犯（ぼうはん）について	・公園の周りを見張って下さい。理由は、最近ふしんしゃが多いので見守って欲しいです。 ・パトロールをしてほしい。 ・最近不審者情報が多いからそれを減らしたい。	こうつう ぼうはん かんきょうがいきうむか 交通防犯課、生涯学習課	【交通防犯課・生涯学習課】 小学生のみんなが安全安心に登下校するためには防犯活動が何より重要です。古河市では、けい察や地域の人たちと一緒に見回りをしています。また、黄色いジャンパーを着て活動する「青少年相談員」という人がいます。ふしん者情報なども参考にしながら市内のいろんなところで、みなさんの登下校時を見守ったり夜の公園のパトロールなどを行っています。年間100日くらい活動するみなさんの味方ですので、もし見かけたときには気軽に声をかけてください。また、防犯灯や防犯カメラをつけて、ふしん者などを減らそうとしています。もしあやしい人を見かけたら、安全なところに行って、近くの大人や先生、けい察に知らせてください。これからも、ふしん者などを少しでも減らして、みんなが安心してくらせるようにがんばります。
14	通学路（つうがくろ）などの道路（どうろ）や防犯（ぼうはん）について	道が狭くて通りづらい。	どうろ かせん かんきょういくさうむか 道路河川課、教育総務課	【道路河川課】 通学路などの道路に関心を持ってくれて、ありがとうございます！市内にはまだ道がせまくて歩きにくいところがたくさんあります。道を広くするには、道路にとり合っている土地の持ち主の協力が必要です。みんなが安全に通れるように、できるだけ道を広くしたり歩きやすくしたりする工事や整備を進めていきます。時間がかかることもありますが、少しずつ良くなっていきます。 【教育総務課】 ご意見ありがとうございます！通学路できけんな場所があった場合は、どう対応するか、国・県・市の道路管理担当者や、古河けい察しよの担当者と協議しています。しかし、例えば「せまい道路を広げて通りやすくする」ことは、多くの人の協力が必要で、対応にとても時間がかかったり、対応できない場合もあったりします。そのため、学校の先生やお家の人と相談して、きけんだと思う場所をさけ、安全な道路を通学路とすることも考えてみてください。これからも、みなさんが安心して安全に登下校ができるように考えていきますので、もし通学路で「きけんだな」と思う場所があったら、学校の先生を通して知らせてください。
15	通学路（つうがくろ）などの道路（どうろ）や防犯（ぼうはん）について	小学校の登校のとき、犬の糞などが散らばっていて困っています！	かんきょうか 環境課	通学路が汚れていると不快な気持ちになりますよね。古河市では、犬を飼った人には「愛犬へのお約束」という宣言をもらった人に「愛犬カードWANCA」を発行して、飼い主にマナーを守ってもらうように呼び掛けています。また、「フンは持ち帰ろう」という看板の貸し出しもしています。通学路等で犬等のフンがどうしてもひどく困っている場合は、その場所を環境課（0280-76-1511）に教えてください。
16	通学路（つうがくろ）などの道路（どうろ）や防犯（ぼうはん）について	<p>私たちは、2週間に1度「みんなでクリーンデー」というイベントを行ったほうがいいと思います。この活動は、中学生が中心となって、通学路の周りや学校近くの公園などをきれいにする取り組みです。通学路や公園は地域の人々が集まる場所であり、子どもからお年寄りまで多くの人が利用します。そのため、清掃活動を通して、みんなが気持ちよく使える環境を作ることが大切です。活動の内容は簡単です。まず、参加する中学生から小学生にスタンプカードを配ります。そして、グループに分かれて、通学路の周囲に落ちているごみや落ち葉を集めたり、公園のゴミや枝を片付けたりします。掃除が終わったら、スタンプカードにスタンプを押してもらいます。スタンプがたまると、賞状と小さな景品と交換できる仕組みです。景品には、手作りした折り紙、モールで作る作品、小さなお菓子など、身近なものを我们用います。必要な道具もとても簡単で、家にあるほうきやちりとり、ゴミ袋で十分です。100円ショップでそろえることもできるので、お金をあまりかけずに始められます。この活動にはいくつかのねらいがあります。まず、通学路や学校周辺の公園をきれいにすることで、地域の人々が安心して利用できる環境を作ることができます。次に、中学生が中心となって活動することで、「自分たちもまちづくりに参加している」という意識を持つことができます。そして、少しずつでも掃除や整理整頓を続けることで、達成感を感じられ、地域や周りの人への思いやりの心を育てることができます。さらに、スタンプカード制度を取り入れることで、誰でも楽しく参加でき、活動の成果が目に見える形になります。2週間に1度の定期的な活動を続けることで、清掃の習慣も身につく、通学路や学校周辺の公園のまわりが明るく、きれいな場所になっていきます。このように、「みんなでクリーンデー」は、中学生でも無理なく始められ、材料も安く、地域全体の環境や人々の気持ちをよくすることができる活動です。小さな行動が積み重なること、地域全体がより良いまちになっていくことを目指しています。（この活動には毎回中学校の先生や小学校の先生が各場所に2人ぐらいを配置して、怪我などもあったことを想定して、保健室の先生を各学校の門の前で配置するこうすることによってすみやかに応急処置ができることを考えます。）</p>	かんきょうか 環境課	<p>ごみ拾いについて、自分たちにもできることを考えてくれてありがとう！古河市の環境のことを考えてアイデアを出してくれたこと、とてもうれしいです。現在、古河市では自治会行政区と一緒に年に2回、5月と11月に「市民総ぐるみ清掃」を行っています。ごみを拾うだけでなく、地域の人と交流も深まるので、ぜひ友達を誘って参加してみてください。また、『アダプトプログラム (https://www.city.ibaraki-koga.lg.jp/soshiki/kankyo/kankyoubika/2096.html) 』という、市民と行政が協働して街の美化を進める取り組みも実施しています。環境を守るためには市役所だけでなく、市民のみなさんの協力がとても重要だと考えています。ひとりひとりの協力によって街がきれいになると思うので、これからも一緒に街をきれいにしていってくださると嬉しいです。</p>
17	遊び場（あそびば）や居場所（いばしょ）について	古河駅の前に小さいこども達の遊び場を見つけました。小学生用の遊び場も作ってもらいたいです。	あそびさくか こども政策課	意見をありがとうございます！遊ぶ場所がもっとあったら、みんな楽しくすごせますよね。古河市では、学校や家以外で、だれでも来ることができて、みんなで遊んだり、勉強したりできる場所をつくる「こどもの居場所づくり」に取り組んでいます。みんなが自由に遊べる・学べる場所を増やしていきたいと思っているのでどういう遊び場がほしいのかなど、また意見をかいてくださると嬉しいです！これからもいろいろなアイデアと一緒に考えていきましょう！

18	遊び場(あそびば)や居場所(いばしょ)について	小さい公園が草がボーボーで遊べない。	とし はいかく、な 都市計画課	草が伸びていて、公園で遊べなくてごめんね。公園の草かりは市や地元の人がおこなっています。今年の夏は暑くて、草かりがなかなか進みませんでした。これからは作業する人の数を増やしたりして、草が伸びていない公園を目指していきます。
19	遊び場(あそびば)や居場所(いばしょ)について	大型商業施設を近くにつくってほしいです。	さんぎょう うぱんりやの 産業戦略課	素敵なアイデアをありがとう。大型商業施設がもっとあったら、みんな楽しく過ごせますよね。 大型商業施設は、お店を出す人が、どこにお店を出したらたくさんお客さんが来てくれるか、地域の人がどんなお店があったらいいと考えているかなどを、たくさん考えて場所を決めています。そのため、古河市が「ここでお店を開いてください」とお願いすることはとても難しいことです。 でも、市役所では古河市のアピールをしたり、お店をやっている会社のお手伝いをすることで、魅力的なお店を出してもらえるように、これからも頑張っていきたいと思います。
20	遊び場(あそびば)や居場所(いばしょ)について	遊ぶ場所がもっと欲しいです、中学生でも室内で遊べる遊び場などが欲しいです。ゲーセンやアスレチック、トランポリンやボールプールなどの遊ぶ場が欲しいです。	こども政策課、さんぎょう うぱんりやの 産業戦略課	【こども政策課・産業戦略課】 素敵なアイデアをありがとう。遊ぶ場所がもっとあったら、みんな楽しく過ごせますよね。 ゲームセンター等のお店は、お店を出す人が、どこにお店を出したらたくさんお客さんが来てくれるか、地域の人に求められているお店か、などをたくさん考えて場所を決めます。そのため、古河市が「ここでお店を開いてください」とお願いすることは難しいですが、魅力的なお店を出してもらえるように必要なお手伝いはこれからも行っていきたいと思っています。 こども政策課では「こどもの居場所づくり」に取り組んでおり、みんなが遊べる場所を充実させていきたいと考えておりますので意見を参考にさせていただきます。 これからもいろいろなアイデアを一緒に考えてくれるとうれしいです。